



新成人の皆さん、 成人おめでとうございます。

1月10日、入場前の検温や消毒の徹底、座席間隔の確保、記念撮影中止などの対策をとった上で成人式が開催されました。

また、上之町の歴史的建造物が無料開放され、新成人が少人数での記念撮影を楽しんでいました。

内容

官製談合を起こさない
12月定例会 など



沼田市議会HP



新しい沼田へ

官製談合を二度と起こさせない

全員協議会で概要説明

今後の対策を協議

昨年11月22日各新聞で大きく報道された「沼田市官製談合」の経過と内容の説明を受けるための議員全員協議会を、直後の25日に開催しました。

事件の概要

令和2年10月15日に執行した白沢簡易水道送水管布設替工事の一般競争入札に関し、市職員が予定価格と最低制限価格を漏らし、入札の公正を害すべき行為を行った容疑。当該職員が逮捕されたことを受け、11月22日に市役所が家宅搜索を受けた。

質疑（概要）

Q過去にも大きな問題となった。残念だし、今度こそ根絶を図らなくてはならない。第三者委員会のような機関を設置すべきと考えるが。

A当局内部に「入札検討委員会」の設置を検討。

Q外部の者も委員会のメンバーに加えるべき。

A更に検討したい。

Qこうした事態になるまで、職員や職場では全く気がつかなかったのか。

A残念ながらそうした雰囲気も異変もなかったのが実態。今後、コンプライアンス、法令遵守等の対応について、積極的に対応していく必要がある。

Q最低制限価格と同額の落札は他にもあったと一部報道されている。チェックできる仕組みはなかったのか。

A平成30年から5件が最低制限価格と同額であると認識しているが、他事業でも最低制限価格と同額で落札されている事業者もあり、一件一件再点検する考えは、今のところない。

Q職員の倫理観に依存するシステムの排除が肝心と考えるが。

A倫理観の醸成もしつつ、それに頼らないことも検討したい。

Q太田市では談合防止策として

予定価格の事前公表を実施しているが。

A太田市では、予定価格の事前公表のほかに、最低制限価格の事前公表まで行っているようである。他市の状況等も踏まえ、検討したい。

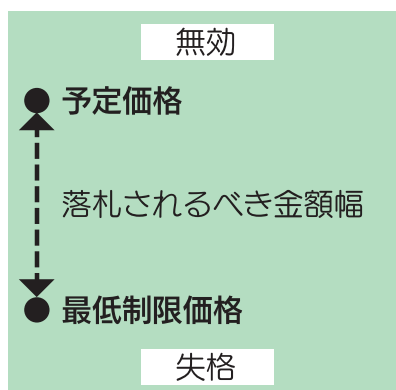
Q現在の工事はもちろん冬期間の除雪なども、これまでも同様では市民感情になじまないと考えるが。

A逮捕された業者を何もなかったように入れるのかという意見もあるだろうということは承知している。法的にどうかというところも踏まえ検討したい。

Q官製談合を発生させてしまったことを受け「内部統制システム」も検討すべきと考えるが。

A検討させていただきたい。

入札の仕組み



予定価格…発注者が事前に設定する落札上限価格。（これより高い入札は無効）

最低制限価格…落札の下限に当たり、工事をしっかり行うのに必要な経費などを発注者が勘案した額。建設工事では、予定価格の75%から92%。（これを下回ると失格）

再発防止に全力で取り組む

沼田市としても過去の談合事件を受け、様々な談合防止策を講じてきました。しかし、それらの対策は業者間の談合を防ぐためのものであり、職員による官製談合を防ぐ対策としては機能しきれていませんでした。

議会としてもこれまでの反省も含みつつ、チェック機能として積極的に事件の全容解明と再発防止に向けて全力で取り組むことを決議として掲げ、再発防止に向け、全力で取り組んでいきます。

現在検討中の対策案

- ・入札執行前の対策案
予定価格の事前公表
最低制限価格の設定変更
指名競争入札の見直し
 - ・入札執行後の対策案
入札結果の検証
入札検証委員会の設置
 - ・職員の倫理保持の徹底
研修の充実
官製談合防止マニュアル策定
内部統制の導入
- ※検討中の対策案であり、実施が決定したものではありません。

沼田市の過去の

談合防止の取り組み

過去の談合事件を受け、業者間の談合を防ぐため様々な対策を講じてきました。主な対策を紹介します。

○平成15年

契約事務の公正と事業の円滑な推進を確保するため「談合情報対応マニュアル」策定

○平成16年

入札・契約制度の改善に関する事項を調査研究するため「入札制度検討委員会」設置、予定価格を事前公表

○平成17年

発注担当部課と契約担当部課の分離を図るため「契約検査課」新設

○平成20年

公正で、円滑な入札業務の執行を図るため「電子入札制度」導入

○平成21年

予定価格を事後公表に変更

○平成29年

地域経済活性化、地元業者保護を目的として、1千万円未満の建設工事で「指名競争入札」導入

沼田市における官製談合疑惑の解明と再発防止を求める決議

市幹部職員が、官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の疑いで逮捕された事件については、市の信頼を著しく失墜させたことは明白である。

今後は、まず、本件に関する疑惑の解明を進める必要があるが、これに留まらず、本件のような信頼を失墜する行為が二度と起こらないよう、再発防止策についても十二分に議論し、徹底していく必要がある。

執行機関に対しては、疑惑の解明及び再発防止策の取りまとめのため、内部のみならず専門的な知見を有する第三者を含んだ検討委員会等の組織を早急に設置し、市民及び議会に対しての説明責任を果たされることを強く要望する。

また、市職員に対するコンプライアンス意識の醸成には、これまで以上に入念に取り組まれるとともに、内部統制制度の導入についても併せて検討されるよう強く要望する。

執行機関を監視する立場にある議会は、今回の事件を重く受け止め、全員協議会等を必要に応じて開催し、執行機関と議会による議論により、情報の共有と再発防止策の磨き上げに尽力するものである。

市並びに市議会は、それぞれの立場で、本件により失墜した信頼を一日も早く回復するための施策を講じる責務がある。

沼田市議会は、信頼回復に全力を挙げて取り組むことをここに決議する。

令和2年12月11日

12月定例会

12月定例会は、12月1日に開会し、12月11日までの11日間、市当局からの定住自立圏形成協定の締結、名誉市民の決定、令和2年度補正予算、条例の改正など計23件と、議会からの請願2件と議員定数条例及び委員会条例の改正を審議しました。また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

次回選挙から議員定数減

定数20人から18人へ

本市議会議員の定数について、減員を含めた検討を行うべきとの区長会の要望を民意として受け止め、議会改革特別委員会を設置し検討を重ねてきました。

9月定例会では、議会改革特別委員長中間報告により、常任委員会の設置数、常任委員の定数等の観点から、本市議会の機能を維持し、かつ、最小限の構成で運営できる適正な定数は18人であるとなりました。

この結果を受け、次の一般選挙から議員定数を20人から18人にする条例を賛成多数で可決しました。

議員定数は減りますが、議員それぞれが資質向上に取り組み、今まで以上に議会力を向上させるよう努めていきます。

条例に反対

(一部抜粋)

議会の権能を低下させる議員定数の削減は、市民のためにも沼田市のためにもなりません。議会制民主主義を維持し発展させていくためには一定のコストが必要です。議員定数を削減することは、結局議会が市民本位の市政に背を向けていることになるのではないのでしょうか。

条例に賛成

(一部抜粋)

本件については、議会運営委員会から、議会改革特別委員会へと場を移し、約2年間にわたり、議論が尽くされました。

この決定は、本市の民意を汲む組織の一つである区長会からの要望に沿った決定であり、県内他市の動向から見ても順当な決定であります。

宮川ひろ氏の功績をたたえ 名誉市民に決定

利根町全区長連名の要望書が提出され、児童文学作家の宮川ひろ氏(故人・利根町千鳥出身)を名誉市民に決定しました。

沼田市名誉市民の称号は、市民又は本市に縁故の深い者で、広く社会の進展、学術文化の振興に寄与した者又は沼田市発展のため優れた功績があつて、市民から郷土の誇りとして尊敬される者に対して贈られます。

代表作は『先生のつうしんぼ』、『春駒のつた』など

利根沼田定住自立圏形成へ 5市町村が協定締結

沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町の5市町村による、定住自立圏が形成されます。今後「共生ビジョン」がまとめられ、地域医療の連携強化や教育環境の整備・充実、公共施設の広域活用、障害者福祉の推進など幅広い分野で広域連携が進められます。移住や定住の促進に向けた相談会や体験、モニターツアーや路線バスなど公共交通のネットワーク化などの事業が実施予定です。

常任委員会

請願2件を審査

民生福祉常任委員会、総務文教常任委員会で2件の請願の審査を行いました。

民生福祉常任委員会では、「保育士の配置基準及び処遇改善と安心・安全な保育の確保を求める意見書提出を求める請願」について審査。市内民間保育所等との意見交換を行い、保育現場の状況について継続的に調査を行い、市内の保育現場で抱える課題を委員全員が認識しており、人口減少と少子高齢化の著しい地方において、定員数は確保されているにもかかわらず、保育士の確保が非常に困難な状況であることが最大の課題であると考える、全会一致で「採択すべきもの」と決しました。

総務文教常任委員会では「中央公民館の除却方針を撤回し、継続利用できること」を求める請願について審査。利用者の思いは十分理解できるが、将来の沼田市の持続性を願い、全会一致で「不採択すべきもの」と決しました。

子ども議会を開催

市内小中学生と利根沼田の高校生代表による「子ども議会」が11月21日、テラス沼田5階議場で開催されました。

子どもたちの夢や豊かな感性を市の発展に反映させること、行政やまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に毎年行われており、今年は、新型コロナウイルス対策として2回に入れ替えての開催となりました。

子ども議員たちは、自分たちで考えた市の問題点に関する質問やこれからの沼田市の活性化についての政策提言などを堂々と行いました。



令和2年度補正予算

新型コロナウイルス感染症対策費、地域通貨発行負担金、道路除雪経費、中央公民館解体設計業務委託料など、緊急に措置が必要なものについて5億5,461万8千円を追加しました。

補正に反対

(一部抜粋)

沼田市中央公民館の利用中止、廃止・除却について利用団体や利用者には、まだまだ理解と納得が得られていない状況です。

解体設計業務委託料を今議会の補正予算に計上することは、利用団体、利用者の声を聞くという姿勢は感じられず、一方的と言わざるを得ません。

補正に賛成

(一部抜粋)

文化や社会教育を維持発展させていく方法は、現状維持しかないのでしょうか。様々な施設を活用した「エリア拠点」という考え方はないのでしょうか。

市民協働の時代の価値創造という視点で利用料の実質的大幅減免となるよう強く求めていく決意と共に賛成します。

(仮称)平川小水力発電所建設工事請負契約を締結

沼田市初の小水力発電施設の建設となり、高度な専門性が求められることから、設計施工一括発注の公募型プロポーザル方式による選定の結果、村山・オーケン・協栄特定建設工事共同企業体と8億3,380万円で随意契約しました。

工事概要

既存水路から取水するための分水槽、導水管等を整備し、横軸フランシス水車により最大発電出力500キロワット以上の発電所となります。完成は令和5年9月の予定です。

敬老祝い金の額が改定

人生100年時代を迎える社会情勢の変化に鑑み、敬老祝い金の額を改定しました。

主な改正の内容

- 77歳到達時の祝金 5千円 ↓ なし
- 100歳到達時の祝金 5万円 ↓ 8万円
- 101歳以上の祝金 5万円 ↓ 1万円

審査の過程で「継続利用には通常の維持管理経費に加え、エレベーターの安全確保や空調機器改修等の経費をさらに要する」「人口減少が急速に進み、公共施設が多機能化や集約化はやむを得ず、点からエリアへの考えで施設を有効活用する必要がある」「代替施設を使つて不便であれば要望を聞き改修するなどし、それで駄目であれば新施設建設も視野に入れるべき」などの意見がありました。

請願に反対 (要旨)

急激な人口減少、財政悪化に対応するためのファシリティマネジメントは後退させてはならないと考えます。そして、引き続きその活動を継続できるようにするのは行政の責務です。

請願に賛成 (要旨)

「今ある施設を長寿命化して、賢く使うように」が、公共施設等総合管理計画の本当の目的であり、精神です。中央公民館をできるだけ永く活用することが、本来の目的ではないでしょうか。

市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞くのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

永井 敏博	児童・生徒の安心安全な通学の確保・対策
中村 浩二	安全で安心な地域環境整備の推進
桑原 敏彦	今後発展する地域活性化の取り組み
茂木 清七	人と自然にやさしい持続可能なまちづくり
三ツ石岩男	新型コロナに伴う沼田市の問題点と対応
井上 弘	いきいきと生活できる沼田市に
大東 宣之	公共施設等管理計画、介護保険、コロナ対策
高柳 勝巳	多様性を認め誰もが安心して暮らせる地域
金子 浩隆	新型コロナウイルス感染禍でのまちづくり
星野 妙子	沼田市不妊治療助成事業、更なる拡充を
井之川博幸	談合事件の再発防止を・中央公民館の存続を

スマホから議会を見よう！

議会インターネット中継

文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
会議名や議員名を選んで視聴できます。

児童・生徒の安心安全な通学の確保・対策

永井 敏博



【Ｑ】声かけ、つきまとい、痴漢などの防犯対策について伺います。

【Ａ】登下校時の児童生徒の防犯対策に必要と思われる通学路などに令和元年度に防犯カメラを50基設置しました。また、防犯灯は、毎年度、区長からの要望を受けて設置箇所を決定し、令和元年度末の設置数は、沼田市全体で5,234基となっています。

【Ｑ】子ども一〇番の家の協力者や店舗の数と児童・生徒の指導について教育長に伺います。

【Ａ】子ども一〇番の家の協力者は、各学校より依頼し、市内全体で店舗を含め627軒あります。児童・生徒には、各学級や集会等で、一〇番の家の地図を配布したり、被害に遭いそうになったら一〇番の家などに駆け込んだりすることを指導しています。

【Ｑ】様々な交通場面における交通安全対策と指導について教育長に伺います。

【Ａ】車やバイク、自転車等の事故に対する安全指導として毎年交通安全教室を実施し、また、体育や学級活動の授業において、交通事故の要因、事故防止の心構えの指導をしています。

【Ｑ】スクールバスの利用状況と徒歩通学距離の見直しについて教育長に伺います。

【Ａ】スクールバスの利用対象者は、交通機関の利用が不便な児童生徒と規定しています。具体的には、各地区や学校で実態に応じて基準を設けていますが、緊急性や必要性に応じて適宜対応しています。

※その他の質問：災害時の安全対策、野生動物対策、利用しやすい交通網の整備など



子ども110番の家ポスター

市政を問う!!

安全で安心な地域環境整備の推進

中村 浩二



【Q】健康増進のための各種検診等への推進について伺います。

【A】がんや生活習慣病の発症を抑制するためには予防や早期発見、早期治療が重要であり、自分の状態を把握するために健康診査やがん検診を定期的に受診していただきたいと考えています。

【Q】地域のつながりの強化による健康づくりについて伺います。

【A】健康的な生活習慣を身につけることができる地域づくりに努めるとともに、地域にともに暮らす人に関心を持ち、互いの健康を気遣う意識の醸成にも努めていきたいと考えています。

【Q】市民協働の推進について伺います。

【A】地域の住民と行政が連携し、様々な分野で知恵を出し合っており、「沼田市市民協働推進基本方針」に基づいた市民協働による取り組みの推進を図っていく必要があると考えています。

【Q】地域コミュニティの推進につ

いて伺います。

【A】今年度より市民部に市民協働課を設置し、区長会事務や施設補助など、地域コミュニティに関する事務を総務部から移管し、更なる地域コミュニティの活性化を図る施策についても検討を進めているところです。

【Q】地域自治区・地域協議会等の設置について伺います。

【A】地方自治法に基づく設置については現在のところ考えていません。利南、池田、薄根、川田、白沢、利根の6地区に設置されている公民館をコミュニティセンターへ移行するための協議を進めています。



コミュニティセンターへ
移行予定の利南公民館

今後発展する地域活性化の取り組み

桑原 敏彦



【Q】中心市街地の新たな地域ブランドとして、今後、大正ロマンをどのように進め、商店街の活性化につなげていくか伺います。

【A】中心市街地への歴史的建物の移転・集約、集客イベントは、活性化に有意義と考えています。地域団体や商店街等の事業として連携した事業展開が図られていくことを期待しています。

【Q】薄根地区では、地域全体の経済的・社会的な活性化を目的に「薄根地域ふるさと創生推進協議会」を立ち上げました。この取り組みを成功させるには行政との連携は必須で、更に各地域に広げることも重要です。地域活性化への行政連携及びその推進について伺います。

【A】移住者・移住希望者と行政をつなぐ地域の受け入れ団体の必要性、重要性も強く認識しています。今後は、地域の活性化はもとより、移住や観光、関係人口増につなげる支援を行っていきたいと考えています。

【Q】地域協議会等の取り組みを発展させるには、将来的に交付金に頼らず事業を継続していくことが最も重要です。地域協議会等と自治体連携による地域ビジネスの創出について伺います。

【A】地域協議会等が自立した運営を行うには、収益を確保できる魅力ある商品や企画が必要で、多くの方々に知ってもらうことが一つの要素と考えています。「棚田のオーナー制度」や「ホタルの里」のPRも行っています。今後、地域が自立し「稼げるまちづくり」につなげるような支援や連携等について研究していきたいと考えています。

※その他の質問：歩行者利便増進道路制度の推進、シティプロモーションについてなど



石墨町の棚田

一般質問

人と自然にやさしい持続可能なまちづくり

茂木 清七



Q今後の公共施設等の在り方について伺います。

A「新しい公共施設のかたちを未来へつなげよう」を基本理念に公共施設の保有量を40年で40%削減することを目標に計画を進め、将来に向け安定した市政を持続できるよう努力していきたいと考えています。

Qサラダパークの民営化に向けての取り組みと今後の展開について伺います。

A「トライアルサウンディング」終了後には、沼田市ファシリテイマネジメント施策に関する民間提案制度により、民間の知恵やアイデアを活かし、サラダパークぬまたの民間活用事業化に向け、取り組んでいきたいと考えています。

Q海外販路促進事業の経過と今後の展開について伺います。

Aコロナ禍で販路開拓は難しい状況ですが、規制が緩やかなシンガポールとタイを中心にインターネットにより進めていき

いと考えています。

Q沼田マルシェの利用状況と今後の取り組みについて伺います。

A沼田マルシェは、全国各地からアクセスがあり、反響は大きかったと認識しています。今後オンラインを活用した販路開拓の可能性について研究していきたいと考えています。

Q耕作放棄地の有効活用と今後の計画について農業委員長に伺います。

A農地の所有者に利用意向調査を行い、その結果をもとに農業者とのマッチング等に取り組み、耕作放棄地の発生、解消に努めていきたいと考えています。



サラダパークぬまた

新型コロナウイルスに伴う沼田市の問題点と対応

三ツ石 岩男



Q大都市での感染拡大に伴う本市での対応と対策について伺います。

A国の新型コロナウイルス感染症対策本部や群馬県新型コロナウイルス感染症対策本部から発信される対応方針やガイドライン等を沼田市新型コロナウイルス感染症対策本部で情報共有し、本市において実施すべきことを検討し、それぞれ所管において対応しています。

Q本市にも第3波が来た時の医療的支援について伺います。

A医師や看護師、医療従事者の皆さまには心より感謝申し上げます。本市では、沼田利根医師会や沼田利根歯科医師会、患者受け入れ病院等への物資の提供や補助、医療従事者に対して慰労金の給付等を実施しています。

Q本市にも第3波が来た時の経済的支援について伺います。

A本市においては、中小企業の資金繰り支援のため、今年度末までに借り入れた「経営振興資

金」融資の利子補給について、利子補給率を3分の1から全額に、利子補給期間を3年間から5年間に拡充しています。

Q新型コロナウイルスやインフルエンザが疑われる場合の対応について伺います。

A発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医や「群馬県新型コロナウイルス感染症コールセンター」に電話で相談し、発熱外来を受診する際は、まず電話連絡のうえ指示を仰ぐなど「医療機関の受診方法」を広報ぬまたや回覧文書、市ホームページ等で周知を図っています。

※その他の質問

- ・電子地域通貨てんぐー
- ・LGBTの人達への偏見
- ・自殺防止対策



不急不急の
外出は
控えてください

市政を問う!!

いきいきと生活できる沼田市に

井上 弘



公共施設等管理計画、介護保険、コロナ対策

大東 宣之



Q各地域の公民館について、社会教育法の適用を除外し、コミュニティセンターに移行させる方針と聞きました。今後の沼田市の社会教育をどうしていくのか、今後の公民館のあり方についてどのような検討がされたか教育長に伺います。

A中央教育審議会の答申において、地域の学習拠点としての役割に加え、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点が示されています。その役割を果たすために、何ができるのか、検討しているところです。

Q中央公民館代替施設、社会教育施設の充実に社会教育担当部署としてどのように取り組むのか教育長に伺います。

A中央公民館代替施設として、テラス沼田や保健福祉センター等を利用していただくことで、これまで以上に広く多くの方が社会教育や文化・芸術活動に参加しやすい環境を整えています。

今後、利用者の声を聞きながら、生涯学習や社会教育に必要な活動環境の充実に努めていきたいと考えています。

Q学校での熱中症は減少しているのか。小中学校のエアコン稼働状況と熱中症の発生状況はどうだったか教育長に伺います。

A室温が高くないよう積極的に活用し、平均稼働日数は40日余りです。現在は、暖房として活用している学校もあります。

熱中症の教育委員会への報告件数は、幼稚園1件、中学校5件の計6件。中学校では、主に部活動中に発生しています。

※その他の質問：部活動の代替大会などの実施状況など



中央公民館

Q除却対象となっている利根支所について、どのような検討がされ、支所機能と、コミュニティ・地域づくりの拠点としての機能をどのように維持、充実させるのか伺います。

A公共施設等総合管理計画の方針に基づき、早期に施設の使用を中止するための措置を講じたうえで、老朽化した施設への対応を最優先に取り組み、引き続き支所機能の在り方について検討していきたいと考えています。

Q中央公民館の代替施設に対する市民要望の反映、施設整備にどのように取り組むのか伺います。

A試しに利用してもらう中で、代替施設における利用上の課題についても確認しているところです。活動が停滞しないように施設整備について調整を進めていきます。

Q生き生き長寿のまちづくり第8期計画では、事業量と介護保険料についてどのような検討が

されているのか伺います。

A市民の皆さんの実情と事業者の考え方を事業計画に反映させています。介護保険料については、今後の高齢者人口の推移や介護サービス量の見込みなどを考慮し、第8期事業計画期間で必要となる介護給付費を算出した上で検討を行っています。

Qインフルエンザとのダブル流行防止にどのように取り組むのか伺います。

A新型コロナウイルスとインフルエンザどちらの感染予防にも有効である手洗いやマスクの着用等、あらゆる機会を捉え感染予防を呼びかけていきたいと考えています。



除却対象となっている利根支所

一般質問

多様性を認め誰もが安心して暮らせる地域

高柳 勝巳



【Q】過日開催された子ども議会では、子ども議員たちが障害者への温かい視線を向けた主旨の質問をされたことに強く感銘を受けました。

障害平等研修（DEET）は、障害者差別解消法を推進するため、障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。対話を通じて「発見」を積み重ねていくなかで、差別や排除など社会の中にある様々な「障害」を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動を形成します。

相手の立場に立って考え、深い洞察をする姿勢を、市民一人一人が再認識することは意味があると考えますが、市長の考えを伺います。

【A】現在策定中の次期沼田市障害者福祉計画は、「フーマライゼーションの理念の実現」を基本理念として策定を進めています。障害平等研修については、「DEET群馬」という任意団体

が様々な研修を行っていますので、実施に向けて検討していきたいと考えています。

【Q】近年その深刻さを深めてきている障害者の「親亡き後」の自立した生活の確保。そして、それに直結する就労及び雇用と処遇の改善問題が関係者の大きな壁として立ち塞がっていると認識しています。障害者福祉計画にある「就労機会の拡大」を次期計画では、どのように具体化し、実現を推進していくのか基本的な考えを伺います。

【A】各事業所へ通う利用者へ支給される工賃向上への取り組みや福祉的就労から一般就労への移行を支援していくような体制をより充実させていきたいと考えています。



テラス沼田1階の福祉カフェIPPO

新型コロナウイルス感染禍でのまちづくり

金子 浩隆



【Q】テラス沼田、新武道場など新しい公共施設が次々と建設される中、公共施設等総合管理計画は大きく改定されなければならぬのではないのでしょうか。

【A】「公共施設の保有量を今後40年間で40%削減」を目標に掲げる公共施設等総合管理計画は、計画開始から5年を迎えることから、個別計画であるアクションプランとともに令和3年度中に見直し、より実現性のある計画に更新していく予定です。

【Q】「中央公民館の継続利用を求める要望書」に対し、どのような回答をしたのでしょうか。

【A】公共施設等総合管理計画に基づき、中央公民館をはじめ、今後、膨大な維持費用の発生が予想される施設について、「多機能化、集約化、複合化、公民連携、長寿命化、機能分散」により、これからの財政規模に見合った施設数に整理していくことが、本市の将来において大変重要であること、現在の施設利用者の

活動が可能な限り継続できるように検討している旨の回答をさせていただきました。

【Q】旧庁舎跡地に建設予定のホテルとの正式契約はどのような形ででしょうか。

【A】10月21日に行ったルートイン開発（株）との打ち合わせでは、「新型コロナウイルス感染症の影響で今年1月以降、全国の新規出店計画はすべて止まっており、事業再開の目的は立っていない。今後、GOTOトラベルの終了する来年1月末以降を目的に宿泊需要及びコロナの影響等を総合的に勘案し、複数ある新規出店計画の再開順位を決定、順次再開する予定である」とのコメントをもらっています。



解体中の旧市役所

市政を問う!!

沼田市不妊治療助成事業、更なる拡充を

星野 妙子



Q 2022年4月に不妊治療への公的保険適用拡大がスタートすると国の発表がありました、それまでの市独自の治療助成制度拡充と市内に1年以上の居住要件の撤廃について伺います。

A 市の不妊治療費の助成は、県の助成額を差し引いた額の半額、10万円を上限とし、県内12市中では平均的な額です。また、1年の居住要件は12市が同様に設定しています。制度拡充と支給要件については、国の発表をふまえ、県内他市の動向等を注視していきたいと考えています。

Q 不妊治療と仕事の両立を支援する理解と協力を促す啓発対策と環境整備について伺います。

A 厚生労働省では「不妊治療を受けやすい職場環境整備に向けた検討チーム」を立ち上げ、休暇制度や環境づくりについて検討しています。職場の環境整備が図られるよう企業等に向けた普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。

Q デジタル化の活用が本格化する中、市民の誰もが使いやすく恩恵を受けられる対応について伺います。

A 本市でもキャッシュレス決済や地域電子通貨てんぐー導入の実証実験なども予定しており、市民サービス向上のため様々な施策に取り組み、市民の皆さんが利用しやすい環境を整備していきたいと考えています。

Q 市民生活にかかせない公共事業の信頼を取り戻す対策と入札制度、落札後の検証について伺います。

A 職員の職務に係る倫理保持に努め、周知徹底を指示しました。副市長を委員長とする入札制度検討委員会での入札制度の検証を行っています。再発防止に向けた検討を始めたところです。



談合事件の再発防止を・中央公民館の存続を

井之川 博幸



Q 談合事件の再発防止及び第三者委員会で調査することについて伺います。

A 職員の倫理保持に一層努めるよう周知徹底を指示し、入札制度検討委員会で再発防止に向けた検討を始めたところです。第三者委員会については検討していきたいと考えています。

Q 新型コロナウイルス感染が広がっている地域から帰郷する成人式参加者にPCR検査を実施し、その費用を市が負担することについて教育長に伺います。

A PCR検査によらず、「成人式における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の周知・徹底により感染防止対策を図っていきたく考えています。

Q 中央公民館をなぜ廃止・除却しなければならぬのか、その理由と経過を伺います。

A 中央公民館の機能を分散し、市の財政規模等に見合った施設量に近づける必要があると考え、市ファシリティマネジメント推



廃止・除却される中央公民館



中央公民館存続
請願書の提出

進会議において令和2年3月に廃止・除却、機能分散の方針と令和2年度末使用中、令和3年度中解体を決定したものです。

Q 除却の方針について、教育委員会会議、社会教育委員会会議や生涯学習推進委員会などの意見は聞いてきたのか伺います。

A 市ファシリティマネジメント推進会議としては、教育委員会会議、社会教育委員会会議等の意見は伺っていません。

Q 利用者の「まだ使える」という切実な声を尊重し、廃止・除却方針を撤回、決め直す方向に転換することについて伺います。

A 市公共施設等総合管理計画は、将来の沼田市にとって大変重要な計画です。決定された方針に基づき対応していきたいと考えています。

行政調査

報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、昨年度の民生福祉常任委員会の概要を掲載します。

民生福祉常任委員会

令和元年10月16日・17日、岐阜県郡上市及び高山市において、自然エネルギー対策と公共交通対策をテーマに行政調査を行いました。

郡上市では、本市においても進められている**小水力発電事業**について、郡上市石徹白（いとしろ）地区の取り組みと、これを利用した地域づくりの状況を視察し、小水力発電事業の展開と地域住民との係わり、その利点や課題などを調査しました。



石徹白番場清流発電所を視察

郡上市モデルとして、地域住民が参加し、住民主体による小水力発電の実現を目指して、調査・設計を市が行い、実施関係者と協議を行っています。石徹白地区では、故郷を想う住民がまとまり、全戸出資で石徹白農業用水農業協同組合を設立し、石徹白番場清流発電所を作り、その管理運営を組合が行っています。地域づくりの視点から感動を覚えました。

高山市は、本市と同様に広大な市面積を有す中山間地域であり、その公共交通対策、特に**路線バス及びデマンドタクシーの運行**について、本市におけるデマンド交通の導入の可能性や有効な運用方法を探るため調査をしました。

高山市では、定時定路線バスや観光路線バスのほか、乗車率の低い路線へのデマンド運行の導入、交通空白地有償運送の導



高山市で公共交通対策を調査

入など、情勢の変化に応じた利用者のニーズを的確に把握し、将来にわたって能動的な見直しを図っています。コスト面が課題ですが、施策的には非常に優れたもので、沼田市への応用も期待できると思いました。

また、公共交通空白地有償運送は、中学校区単位に設置されている「まちづくり協議会」に補助を出して運行を委ねています。公共交通対策を通じた新しい地域づくり政策であると感じました。

次回定例会の日程

次回定例会は、2月25日（木）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本でも昨秋からの第3波では感染者数が毎日のように過去最高となっています。感染の拡大によって深刻な打撃を受けている観光、宿泊、飲食業などへの直接的支援を強化し、地域経済を支え、雇用と営業を守っていかねばなりません。

新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐには、感染者を発見するPCR検査を「面の検査」へと広げていき、無症状者を発見し、感染者を保護することも必要です。また、感染者や接触者、医療従事者などへの誹謗中傷、非難も深刻な問題であり、決断して行っていくべきです。

コロナ後の社会は、これまでとは違う、くらしを支え、人にやさしい社会が求められるのではないのでしょうか。

編集委員 大東 宣之

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 星野 妙子

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 高山 敏也
山宮 敏夫 大東 宣之 戸部 博